

大月コンテンポラリーアート 2022

廃校オルゴールと
マララの鉛筆第1
会場

COSA 大月 (旧小才角小学校)

高知県幡多郡大月町小才角 350
TEL 0880-73-1181 (大月町まちづくり推進課)

9月17日 [土] - 10月7日 [金]

AM10 - PM4 (会期中無休)

オープニングイベント

■ 9月17日 [土]

13:00~ ワークショップ
『校庭に巨大鉛筆を立てる』

14:30~ 音楽会 山口 幸、イーゲルサクソス
アンサンブル、クラシックカルテット

*参加費無料・汚れてもよい服装でご参加下さい。

第2
会場

自遊学校 (旧竜ヶ迫小学校)

高知県幡多郡大月町竜ヶ迫 1915-3
TEL 0880-73-0804

9月18日 [日] - 10月1日 [土]

AM10 - PM4 (会期中無休)

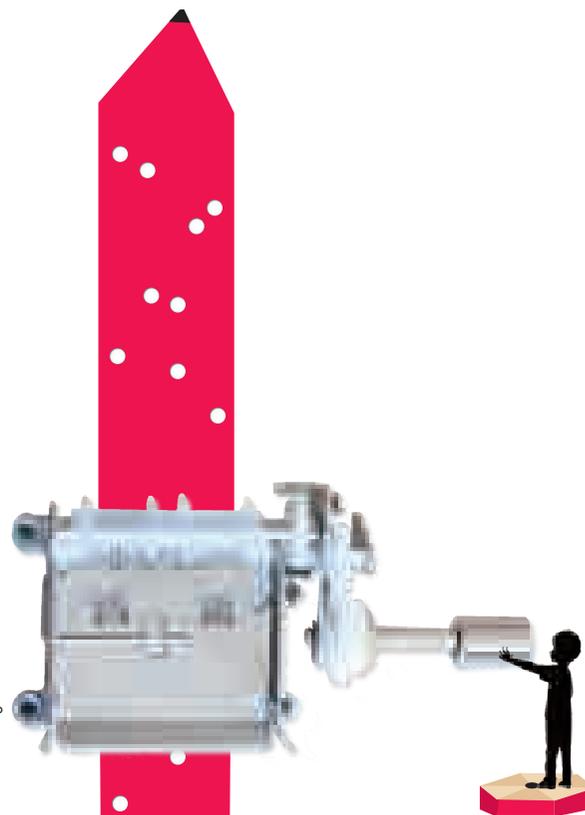
マララの鉛筆 チャリティ展

チャリティライブ

■ 9月18日 [日] PM6:30~

「光と音を奏でる」 米子 匡司 (音楽家)

*入場無料



【展覧会名】 大月コンテンポラリーアート 2022
廃校オルゴールとマララの鉛筆

【会場・会期】 2会場で開催、会期は会場により異なります。
詳細は左記の通り

【出展作家】 谷本 研、野口ちとせ

【展示作品】 第1会場 (COSA 大月)

体育館：《大月町旧小学校校歌十四窓 ~廃校オルゴール~》
インスタレーション (谷本研)、鉛筆オブジェ / 野口ちとせ
校庭：《マララの鉛筆》
インスタレーション (野口ちとせ)

第2会場 (自遊学校)

校庭：《マララの鉛筆》
2~3M 高さの巨大鉛筆 50 本によるインスタレーション (野口ちとせ)
井上明彦 (立体 / ミクストメディア)、浮川秀信 (立体 / ピアノ線)
校舎内：池田啓子彦 (平面 / 油彩)、他

【主催】 +1art

【共催】 大月町、くろしお芸術協議会

【後援】 大月町教育委員会

四国西南端に位置する大月町は資源に恵まれた環境にあります。豊かな海と温暖な気候はもちろんですが、使われなくなった廃校も大月の貴重な資源です。その廃校のひとつ旧小才角小学校がアーティストのための長期滞在型複合施設として再利用されることになりました。そのオープンを記念し、旧小才角小学校、旧竜ヶ迫小学校の二つの廃で「大月コンテンポラリーアート」展を開催します。

今回は関西で活躍する二人のアーティストが、廃校の校歌を奏でるオルゴールや、巨大な鉛筆を校庭に立てるインスタレーション作品などを展示します。

オープニングイベントは、鉛筆のワークショップや旧小才角小学校の校歌をオペラ歌手が歌うなど、盛り沢山の内容です。

尚、2会場の開催日は異なります。ご確認の上ご来場をお待ちしています。

第1会場

COSA 大月 (旧小才角小学校)

9/17 (土) - 10/7 (金)

AM10 - PM4 (会期中無休)

*会期は第2会場と異なります

オープニングイベント

9/17 (土)

13:00~ ワークショップ
『校庭に巨大鉛筆を立てる』

14:30~ 音楽会 山口 幸、イーグルサクセス
アンサンブル、クラシックカルテット

*参加費無料、ワークショップは汚れてもよい服装でご参加ください。

大月町旧小学校(廃校)マップ

大月町旧小学校(廃校)マップ

廃校オルゴールと
マララの鉛筆

第2会場

自遊学校(旧電ヶ迫小学校)

9/18 (日) - 10/1 (土)

AM10 - PM4 (会期中無休)

*会期は第1会場と異なります

マララの鉛筆チャリティ展

チャリティライブ

9/18 (日) PM6:30~

『光と音を奏でる』 米子 匡司 (音楽家)

*入場無料

・宿毛駅からの交通案内・

バスで40分 (高知西南交通清水宿毛線)	→【小才角】徒歩7分	→ COSA 大月
宿毛駅	車で30分 (R321)	
バスで50分 (高知西南交通清水宿毛線+電ヶ迫線)	→【電ヶ迫】徒歩3分	→ 自遊学校
	車で30分 (R321+県道327)	

主催: +1art ・ 共催: 大月町、くろしお芸術協議会 ・ 後援: 大月町教育委員会

谷本 研



大月町旧小学校校歌十四窓

オルゴールで再現する
廃校14小学校の校歌と
歌詞から眺める大月の風景

TANIMOTO Ken

1973年 神戸生まれ。1998年 京都市立芸術大学大学院造形構想専攻修了。アートやその周縁に関わりながら企画活動を行う。1999年 京都の古旅館で開催した「当世物見遊山」展以来「観光」を通じたモチーフとする。「やんばるアートフェスティバル 2021-2022」では地域の廃校校歌をモチーフにした作品を発表。漫画やデザインも手掛け、『学校で地域を紡ぐー「北白川こども風土記」からー』(小さ子社、2020)ブックデザイン、かつて流行した観光ペナントの収集研究家として著書『Pennant Japan』(PARCO出版、2004)などがある。

野口 ちとせ



マララの鉛筆

学校に行けない途上国の
子どもたちを支援するシンボル

NOGUCHI Chitose

大阪生まれ。『音・空・観』と題したインスタレーションやワークショップによる傾聴の試みなど、「音」をテーマにした造形作品を国内外で多数発表。1990年初個展。2015年以降、赤い鉛筆と国旗をモチーフにした連作『マララたちに For Malalas』で、巨大な赤い鉛筆オブジェ《マララの鉛筆 She is straight》をシンボルとした活動を開始。以降、途上国の女子教育を支援するマララ基金に寄付を募るチャリティ展を度々開催。

谷本 研 × 野口 ちとせ